

ねむろトピックス

まつもと保育所の
おともだち

夢・まみぎくになったかな



まさき 虹ちゃん（4才）
“ケーキ屋さん”になりたい



かただ しえん 嵯門くん（6歳）
“漁師さん”になりたい



おおぜき あおい 葵衣ちゃん（5歳）
“プリキュアのミルキーローズ”
になりたい

DREAM



12月1日、東京都内で「北方領土返還要求行進アピール行動」が行われ、元島民や関係者など根室管内からの参加者約70名をはじめ、全国各地から約500名が参加し、「島を返せ」の掛け声とともに行進をしました。

12月1日から1月10日まで、市役所に北方領土返還要求運動の一環として「北方領土啓発年賀スタンプコーナー」が設置され、標語や干支の図柄など52種類のスタンプが多く多くの市民に利用されています。



12月4日、商工会館で根室市のスポーツの普及と発展・振興に寄与してきた根室体育協会の「創立70周年記念式典・祝賀会」が、協会関係者や黒部市体育協会会長など管内外から約120名が参加し盛大に開催されました。

図書館

〈静かな憩いのおときを あなたの図書館で〉

初日の出の「初」に寄せて

— 北海道初の公共図書館 —

今年も、北海道で最初に初日の出を迎える納沙布岬のすがすがしさに、新しい年への願いを込めます。

その輝きのもとに、私たちの根室がしるす「初」があります。例えば、根室で盛んに行われているスケートです。その「日本のスケート事始め」の地が、ラクスマンの来航に際してのここ根室であったことが伝えられています。また、日本で初の都市間長距離バスの運行が、大正三（一九一四）年から根室で馬車運送業を営んでいた大津滝三郎によって、一年半ほど根室と厚岸の間で試みられました。これらは、あまり知られていない根室の「日本初」ではないでしょうか。

また、驚きとうれしさの図書館に関わる「北海道初」があります。一つは、明治一〇（一八七七年）に前年開校の花咲小学校が、地域の方々に学校の図書室を開放しました。これは、当時としては画期的なことで、北海道でも初の試みであったといわれます。

そして、函館とともに「北海道における公立（公共）図書館の始まり」ともいわれる「共同根室文庫」の存在です。

「共同根室文庫」は、今から百二十四年前の明治一八（一八八五）年の一月に設立され、役所議事堂の一隅に置かれました。その蔵書数は、二千冊近くを有し、内容も、政治・経済・法律書を中心に、化学・天文・土木学などのほか家庭生活まで、種々の分野にわたり実に幅広い蔵書であったことに驚かされます。当時の根室の人たちの気概と向学心がうかがえるとともに、尊敬の念をいただきます。「共同根室文庫」のその後の詳細は不明で、とても残念なことです。しかし、私たち根室人の中には、脈々とその気概と開拓努力、そして熱い温かい心が受け継がれています。

今、社会そして地域が、決して樂觀できない多くの課題と厳しい現実を抱えています。「北海道最初の公立図書館」をルーツに持つ根室市図書館の誇りを胸に、今年も多くの市民皆さんのご利用と憩いとなる図書館を目指し、職員一同努力して参ります。

司書 松永 伊知子